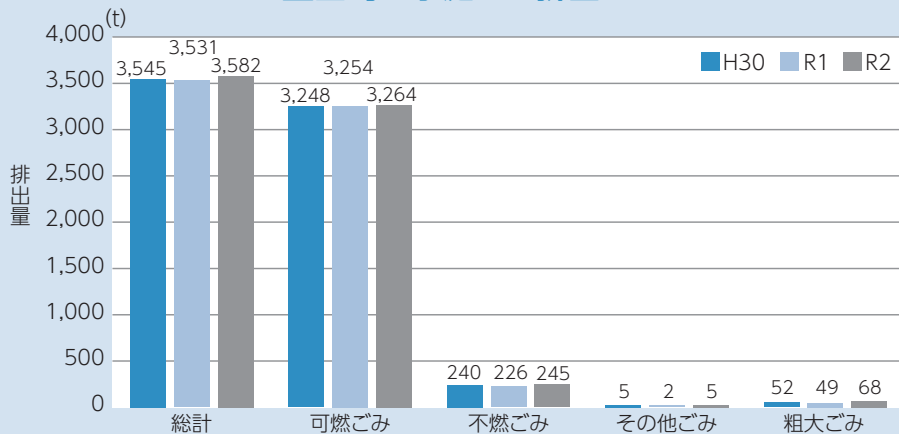




本町では、町民1日1人あたり約600グラム、1年間に町全体で約3,600トンのごみが家庭から排出されています。また、そのごみを処理するのに、ごみ袋1袋あたり360円、年間約2億6,000万円のお金がかかっています。このお金は、皆さんの大切な税金です。

令和2年3月、本町は一般廃棄物処理基本計画を策定し、町民1日1人あたりの家庭ごみの量を令和16年度までに540グラムまで減らすことを目標としました。この目標を達成するためには、皆さん1人1人が身近なことから取り組んでいくことが大切です。皆さんと一丸となりごみ処理の将来像「地球にも人にも優しい持続可能なまち」を目指していきましょう。

豊山町のごみ排出量



ごみを減らすために

リサイクル活動を積極的に進めましょう

リサイクルはごみを減らすための1つの手段です。豊山町のごみのリサイクル率は17%で、愛知県内で35番目となっています。資源ごみは収集後にリサイクルされ、売上金・奨励金となって自治会へ還元されます。資源ごみを増やせば、ごみの排出量も減ります。環境のため、リサイクルを心がけましょう。

〈資源として回収されるもの〉 空き缶、空きビン、紙パック、ペットボトル、食品トレー、金物類、容器包装プラスチック、発泡スチロール、古紙・布類

アルミ缶の売上は
85円/kg(R3)
170円/kg(R4)



生ごみを減らしましょう

家庭から出される「可燃ごみ」のうち、約4割を生ごみが占め、そのうち約8割が水分とされています。つまり、可燃ごみのうちの約3割は生ごみの水分です。本町では、家庭から出る生ごみを減らすため、「生ごみの水切り」を推奨しています。生ごみを濡らさない、濡れた生ごみは出す前に水を切るといったことを心がけることで、生ごみの重量の約1割を減量することができます。本町の場合、1年間で約100トンの生ごみを減量することができますので、次のことを実践しましょう。

- 野菜は洗う前に皮むきをし、皮などの野菜くずが出たら、濡らさないようにすぐに袋に入れる。
- 濡れた野菜くずは新聞の上に置き、天日干しをしてから可燃ごみに出す。
- 三角コーナーを傾けておくと、水分が切れます。



▶問合せ 住民課環境保全グループ ☎28・0916

ごみの減量を進めよう
未来の美しい豊山町のために